

グローバル経済引き籠り時代の 企業戦略とは？

不安定化する世界経済や金融市場、強まる反グローバル化の潮流、各地における政治情勢の不透明化など、世界は大きな断層の淵に立ち委縮しているかのようです。それは、日本企業のグローバル戦略にも大きな影響を及ぼさずにはられません。転機を迎えたグローバル経済金融とグローバル経営戦略へのインパクトを、それぞれの専門家と参加者との活発な意見交換を通じて明らかにしたいと思います。

事前申し込み制

裏面の申込書にご記入の上、ウェブサイトまたはFAXでお申し込みください

入場無料

2016年11月28日（月）
15:00～17:00

経団連会館カンファレンス4階402号室
ダイヤモンドルーム（南）
東京都千代田区大手町1-3-2
（東京メトロ大手町駅C2b出口直結）



倉都 康行 氏
RPテック株式会社 代表取締役

[講師紹介]



平野 正雄 氏
早稲田大学商学学術院 教授

<ご略歴>

東京大学経済学部卒。
旧東京銀行で主にロンドン、香港、東京にて為替、証券、新商品開発、リスク管理業務などに従事。
バンカーズ・トラスト、チェース・マンハッタン銀行のマネージング・ディレクターを経て、2001年4月にRPテック株式会社を設立、代表取締役に就任。
グローバル経済・金融に関する著書・寄稿多数。
近刊に、「投資銀行バブルの終焉」（日経BP社、2008年）
「金融史の真実」（ちくま新書、2014年）、
「地政学リスク」（ダイヤモンド社、2016年）など。

<ご略歴>

1998年から2006年まで、マッキンゼー&カンパニーのディレクターおよび日本支社長。
マッキンゼーには1987年より20年間在籍し、ハイテク産業や製造業から医薬品や金融までの幅広い産業分野において、企業の経営戦略、組織変革、グローバル化、M&A、コーポレートガバナンスなどの経営課題の解決に従事。その後、プライベート・エクイティ大手のカーライルにおいて複数の日本企業のマネジメントバイアウト（MBO）投資に参画。
2015年より現職。工学博士（東京大学）

<当日プログラム>

15:00 開会 15:05～16:05 ご講演 16:05～17:00 講師による対談及び質疑応答